

●平成29年度 宝塚市社会福祉協議会

【事業報告】



安全で安心な
まちづくり

平成29年度は、国が示す「我が事、丸ごと地域共生社会づくり」の推進に合わせ、第6次地域福祉推進計画の1年目として「計画づくり」「拠点づくり」「人づくり」を中心に、各計画項目の基本づくりを進めてきました。

その中でも様々な人達の社会参加・協働を進めるために、地域の協議の場や協働の場に参画していただけるように働きかけを行いました。

また、様々な生活課題に対して問題を課題化しながら、具体的な対策を多様な人達の参画を得ながら検討実施することに取組み、一定の成果を上げることができました。

1. 福祉でまちづくり

様々な支援プログラムの見直しを進め、自治会範囲でのささえあい会議や見守り支え合い活動の拡大、また校区ネットワーク会議・ブロック会議の充実をはかりました。また、地域福祉のコーディネーター役となる担い手の養成や福祉専門職に対する研修や啓発を行いました。

2. 多様性を認め合う共生の地域づくり

全ての人達が多様性を認め合い、地域で役割を持ち活躍できるまちづくりを進めるために、地域の様々な協議の場等へ当事者が参加・参画できるように働きかけるとともに、ひきこもりや生活困窮に対応する試みをスタートさせました。

3. ささえあう仕組みづくり

専門職間のネットワークづくりに向けた働きかけをスタートさせ、地域と専門職をつなぐ様々な取り組みを行いました。

また、地域共同ケアを進めるために社協の介護サービスでの中重度の要介護者の対応の向上に加え、地域での運営委員会の立上げと校区チームによる対応を進めました。

4. 地域福祉の基盤づくりと計画・マネジメント

社協の組織や経営体制を見直すために経営基盤整備研究会を立ち上げ、職員間での課題共有と今後検討すべき方向性を確認しました。また、社会福祉法人や介護事業所のネットワークの事務局として、地域との協働・サービス向上に向けた働きかけを行いました。

☆本年度も、地域福祉推進について幅広い分野から参画を得ながら、さらに住民主体の地域づくりの取り組みを強化してまいります。

【全文は下記からご覧いただけます】

トップページ⇒各種資料ダウンロード⇒平成29年度 事業報告

【決算報告】

